

ドナウ の 四季

月刊「ドナウの四季」 2019年2月号

定住権付き国債販売の実態が判明	盛田 常夫	1
反政府デモ再び、行きつく先は？	鷺尾 亜子	6
今月のプログラム	桑名 一恵	10

Heat Therapy in Oncology—Oncothermia
New Paradigm in Hyperthermia
Andras Szasz and Tsuneo Morita

腫瘍温熱療法—オンコサーミア

ハイパーサーミアのパラダイム転換——医術から医学へ

サース・アンドラーシュ／盛田常夫〔著〕



日本評論社

温熱治療のパラダイムを転換する

温熱治療を根本から見直し、
あるべき手法を示した著書。

曖昧な日常知を科学によって解明した画期的な著作。

オンコサーミア治療器は世界25カ国で利用。
ドイツでは百か所以上のクリニックで、
韓国の主要な大学病院に設置。

好評発売中。定価3200円+税。
大手書店、Amazonにて購入可。

第4章 腫瘍温熱療法

- 4.1 腫瘍温熱治療の基本概念
- 4.2 ハイパーサーミアの手法
- 4.3 熱の作用と併用効果
 - (1) 熱と血流
 - (2) ハイパーサーミアの併用効果
- 4.4 ハイパーサーミアの熱生成
 - (1) アンテナ放射
 - (2) 磁場(コイル)
 - (3) 容量性カップリング
 - (4) 伝導加熱
- 4.5 ハイパーサーミア治療が抱える問題

第5章 オンコサーミアの理論と方法

- 5.1 電場の利用
- 5.2 細胞燃焼
- 5.3 腫瘍治療における細胞加熱
- 5.4 ミクロスコピック加熱
- 5.5 集束化の原理
- 5.6 温度の役割
- 5.7 安全性
- 5.8 積算量(ドーズ)
- 5.9 臨床事例

第6章 自然療法としてのオンコサーミア

- 6.1 ホメオスタシスの復位
- 6.2 細胞の自然死の促進
- 6.3 細胞転移の阻止
- 6.4 転移がん細胞に作用

第1章 ハイパーサーミアの歴史と評価

- 1.1 ハイパーサーミアとは何か
- 1.2 ハイパーサーミアの曖昧さと課題
- 1.3 ハイパーサーミアの歴史的概観
- 1.4 腫瘍治療のハイパーサーミア

第2章 ハイパーサーミアの物理学

- 2.1 電磁気学の基礎概念
 - (1) 電磁気現象
 - (2) 電場と磁場
 - (3) キャパシタ
 - (4) 位相シフト
 - (5) インピーダンス
 - (6) 電磁波
- 2.2 バイオ電磁気学
 - (1) 電磁波スペクトル
 - (2) バイオインピーダンス
- 2.3 「非熱」効果
 - (1) 非温度依存(NTD)効果
 - (2) 電磁場におけるNTD効果
 - (3) 電磁気による目標選択
 - (4) 電磁気と生体システム

第3章 ハイパーサーミアの生理学

- 3.1 生体におけるエネルギー、熱、温度
- 3.2 生体における温度制御
- 3.3 生体の加熱と体温
- 3.4 加熱による温度の分布
- 3.5 全身加熱と局所加熱の本質的な差異
- 3.6 加熱と冷却:リスクとその回避
- 3.7 温度測定と熱積算量(ドーズ)

定住権付き国債販売の実態が判明

盛田 常夫

Golden Visa 導入と手仕舞い

2013 年 1 月、ハンガリー政府は外国人向けの定住(移民)権付き国債(いわゆる Golden Visa)の販売を開始した。これを発案したのは、当時のハンガリー国会の「経済・情報委員会 (Gazdasági és informatikai bizottság)」委員長ロガン・アンタル (Rogán Antal) である。ロガンはオルバン政権や FIDESZ 国会会派の主要ポストについているにもかかわらず、種々の収賄疑惑や補助金詐欺に関係していることがメディアで報じられている人物である。

定住権付き国債は、ハンガリーにとって資金調達が安価であると理由で、さほどの議論もなく国会で可決されたスキームである。ところが、2015 年夏から始まった欧州への大量の難民・移民の流入にたいし、ハンガリー政府は難民・移民に厳しい態度をとってきたが、その姿勢と国債販売による移民推奨が矛盾することになった。

2016 年秋、ハンガリー政府は対外的にハンガリーの姿勢を見せるために、「EU からの移民の強制割当の正否」を求める国民投票 (2016 年 10 月 2 日) を実施し、その後に基本法 (憲法改正) を実行しようとした。国民投票自体は投票率が 50% に達せず有効性を失ったが、政府は投票数の 98% (投票数で 336 万人) が「No」を選択したことを声高に叫び、国民投票は成功だったと自画自賛した。

国民投票に続き、「ハンガリーの主権を侵すような問題領域において、EU は強制力を持たない」とする基本法の改正を国会決議 (三分の二の賛成要件) することを求めた。これにたいして、野党の JOBBIK は、「金持ちであろうと貧乏人であろうと、移民は受け入れるべきではない。したがって、JOBBIK は定住権付き国債の廃止する場合にのみ、政府の決議に賛成する」と明言したことで、定住権付き国債問題が脚光を浴びることになった。これにたいして、オルバン首相は明確な回答を示さなかったが、2017 年 3 月をもって、定住権付き国債の販売が停止された。オルバン政府はこの国債販売で種々の批判を受けており、JOBBIK の批判をうまく利用して、このスキームを手仕舞いしたのである。

このスキームが内外から多くの批判を受けてきたのは、限りなく不透明なビジネスを支援しているからである。この国債を購入しようとする外国人は、直接にハンガリー政府から購入することができず、政府が指定した仲介会社を通してしか購入できない。仲介会社は経済・情報委員会が許可し監視するものとされたが、政府与党が絶対多数を占める委員会に提案された仲介会社 8 社は、すべてタックスヘイヴン地に設立された会社で、実際の所有者が不明なオフショア会社である。政府与党の政治家や関係者がこの仲介ビジネスに関係していることは明かだが、仲介会社の実際の所有者の情報や、ビジネスの詳細は国家機密とされ、政府は一切の情報提供を拒否してきた。

情報公開要求

反政府派のインターネットポータルサイト G7.hu は、政府の国家債務管理センター (AKK) にたいして滞在許可付き国債販売にかかわる情報公開を求め、Transparency International の支援を受けて 2016 年 4 月に AKK を告訴した。1 審、2 審でも AKK が敗訴し、最高裁までもつれたが、公益の視点から情報は公開すべきものとの判決がでて、ようやく一定の情報が公開された。これを受けて、G7.hu は 2018 年 12 月 21 日付けの Wiedemann Tamas 署名の記事を掲載し、重要なデータを公表した。そのデータを筆者の推測を交えて記すと以下のようになる。

1. 実際に国債を購入した外人総数は 6,543 名で、その家族 13,312 名を合わせた 2 万人弱が、ハンガリーの滞在許可書（いわゆる Golden visa）を受領した。

2. 2013 年のスキーム導入時点で定住権を得るために必要な国債購入額は 25 万ユーロで、5 年償還で年利 2.5% の利子が付く。2015 年 1 月からは必要購入額が 30 万ユーロに引き上げられた。購入者はハンガリー政府から国債を直接購入することはできず、仲介会社を通して購入する。仲介会社は購入者から定住権の取得を含めた手数料を取得するが、これは会社によって異なり、3 万ドルから 5 万ドルだったと言われている。つまり、国債利子より仲介手数料がはるかに高かった。したがって、国債購入者は最初から利子を当てにしておらず、利子を取得したのかどうかについても無関心な者が多かった。

滞在許可付き国債の独占仲介会社

会社名	登記地	販売対象地域
1 Arton Capital Hungary	ハンガリー	中東、北アフリカ、英国、スイス、アメリカ、シンガポール、タイ、ヴェトナム
2 Hungary State Special Debt Fund	ケイマン諸島	中国
3 Innozone	キプロス	キプロス、インド
4 Migrat Immigration Asia Ltd.	キプロス	マレーシア、モンゴル、韓国
5 VolDan Investment Ltd.	リヒテンシュタイン	ロシア、C I S 諸国、南東欧、南アなど
6 S&Z Porogram Ltd.	リヒテンシュタイン	中東、北アフリカ、英国、スイスなど
7 Discus holdings Ltd.	マルタ	南ア、ケニア、ナイジェリアなど
8 EURO-ASIA Investment Pte Ltd.	シンガポール	シンガポール

注：1. の Arton Capital Hungary は形の上でハンガリーに登録された会社だが、実際の国債販売はオフショア企業が担当していることになっている。

3. 国家債務管理センターが掌握している国債販売数 6,543 件と入国・難民管理庁が掌握

している数 6,211 件との間に、332 件の乖離がある。政府はこの乖離について説明していないが、推測として、仲介業者が資金運用のために、仲介料として得た自らの資金で国債を購入した可能性が高い。国債利回りは 2.5%と、通常の銀行金利や同等のユーロ債券よりかなり高いので、仲介手数料で得た余裕資金を運用した可能性がある。国債利子は仲介会社に支払われており、それが国債購入者に支払われたのか否かは不明。もし仲介業者が国債購入者に利子を支払っていない場合には、このスキームは仲介会社にボロ儲けさせるために発案されたと考えるべきだろう。

4. 認可された仲介業者 8 社のうち、1 社を除き、すべてタックスヘイヴン国に登記された会社で、その実態が不明。ハンガリーに登記された会社も、実際の運用においてはタックスヘイヴン地の会社を通して取引を行っており、実際の運用とハンガリーで報告された実態が異なる可能性が大きい。経済・情報委員会に提出された書類には仲介会社の代表者名は記載されているが、実際の会社所有者の情報は、情報公開決定の後も明らかにされていない。

5. 8 社のうち、中国向けの Hungary State Specila Debt Fund と名付けられた会社は、ケイマン諸島に登記された会社で、代表者が dr. Lian Wang と Boros Attila となっているが、これはダミーと思われる（後述）。この会社が香港に会社を創設して、中国向けの国債販売を独占しており、745 億 Ft の手数料（仲介 1 件あたり 3～5 万ドルと言われている）を取得し、8 社全体の手数料収入の 73.25%を占めている。また、この会社が受け取った利子総額は 476 億 Ft で 8 社全体に支払われた利子総額の 78.42%を占めている。

6. 中国向けに設置された Hungary State Special Debt Fund は、財務省が仲介会社設立にかんする詳細情報を発表する 1 ヶ月前の 2013 年 1 月 15 日にケイマン諸島に登記され、香港の子会社は 2012 年 12 月 4 日に登記されている。これは政府プログラムが発効する 3 週間前で、国会がこのプログラムの法的規制を承認する 1 週間前のことである。明らかに、政府あるいは政治家と密接な関係を持つ人物が、この会社登記と仲介業務を遂行したと推測される。

7. このスキームが導入された当初の 2013 年の 5 年満期のユーロボンドの利回りは 4%を超えており、定住権付き国債の 2.5%は確かにハンガリー政府にとって有利な資金調達だった。それがこの不透明なスキームの導入を納得させる唯一の利点だった。しかし、1 年後の 2014 年初めには 5 年満期のユーロボンドの利率は 2.5%を下回り、そこから持続的に低下し、2016 年には 0.5%を下回るようになった。それにつれて、定住権付き国債のセカンダリーでの利率も 2%前後に落ちた。この結果、定住権付き国債は通常の市場での資金調達よりもはるかにコストが高い資金調達になり、その分だけハンガリー国民の税収が無駄遣いされた。

オフショア仲介会社を操る人物

以上が 2018 年末に明らかになった事実である。このスキームを通して無駄遣いされた国家予算は、仲介会社を所有する陰の所有者の利益として国外に流出した。このプログラムを発案・推進したのは現首相府官房長官のロガー・アンタルで、ロガーの盟友で首相顧問のハボニィ（Habony Árpád）がロシアと中国向けの仲介会社の背後にいてと言われている*。このスキームに実質的に関与し、私財を蓄えた政治家や官僚は国家背任の容疑を問われよう。ただし、現在のハンガリーはこれを立件するだけの社会規範と検察力を保持していない。

* 週刊誌 168ÓRA のインターネットポータルサイト 2018 年 10 月 10 日（8:53: <https://168ora.hu/itthon/kiszivargott-dokumentumok-isbizonyitjak-hogy-habony-arpad-kore-nyakig-benne-volt-a-kotvenybizniszben-157277>）は、オルバン首相の個人的顧問でロガー首相府官房長官の盟友である Habony Árpád が定住付き国債ビジネスに関係していることを示す文書が見つかったことを報道している。それによれば、ロシアへの国債販売を担当している Voldan Investment の仕事を請け負っているのは、Shabtai Michaeli というグルジア-イスラエル人と、ブダペストの地下鉄の構内でパンの販売チェーン店を営んでいる Michael Gagel で、ともにロシア語とハンガリー語話す人物であるという。ハボニィと友人関係にあるだけでなく、ロガー首相府官房長官夫人やハボニィ前夫人（カミンスキー・ファンニィ、現首相府広報官）およびハボニィの現愛人（ナジ・ボグラルカ）、ヴァイナ・ティメア（ハンガリー政府映画部門政府顧問アンディ・ヴァイナ夫人）と懇意にしており、Gagel のインスタグラムにはハボニィとヴァイナの写真が載せられている。

ロシアでこのスキームを使って 384 名が国債を購入し、家族を合わせた合計 1256 名がハンガリーの定住権を得たことが分かっている。また、定住権付き国債を購入した人々の移住関連の事務手続きを行っているのはブダペスト弁護士事務所、この事務所こそ、政府と深い関係にある Kosik Kristóf 弁護士事務所である。もちろん、偶然にこの事務所が事務を委任されたわけではない。ロガーがブダペスト 5 区の区長時代には区の公的企業の法的代理人にもなっていて、国会の FIDESZ 会派や、ロガーやハボニィの弁護案件を取り扱っている事務所であることが分かった。この事務所はまた、ハンガリーの国債販売仲介会社である Arton Capital の法的代理人を務めている。

Google automatically generates this HTML view of the file <http://www.heliseservices.com.hk/booking/downloadtransaction.php> as we crawl the web.
Google is neither affiliated with the authors of this page nor responsible for its content.

id	servicename	booker	email	phone	totalmem	member	pmethod	curren	vy	total
	Hong Kong Island Experience (Shared Flight)	Joel								
	Hong Kong Island Experience (Shared Flight)	Joel								
266060	Complete Hong Kong Experience (Private Flight)	Arpad Habony	jonchanhk@		9188		Nagy Boglarka	Paypal		
	Hong Kong Island Experience (Private Flight)	Daniel								
	Hong Kong Island Experience (Shared Flight)	punit								

ハボニィは首相顧問として度々中国を訪問しており、中国人向け国債販売を行っている香港の会社で、実際に仕事を行っているのは独立バンカーである Jonathan Chan であることが明らかになった。国債売買

契約書には仲介会社の法的代表者である dr. Lian Wang と並んで、Jonathan Chan が署名している。2016 年 6 月にハボニィは愛人のナジ・ボグラルカの二人の名前で、香港上空をヘリコプターで遊覧飛行したが、Jonathan Chan がこの予約を入れた。この遊覧飛行は 45 分で 26,500 香港ドルである（<https://444.hu/2016/06/29/hongkongi-helikopter-tura-koti-ossze-habony-arpadot-a-magyar-letelepedesi-kotvenyek-egyik-offshore-forgalmazojaval>）。大方、香港の国債販売仲介会社の接待費用として落としたのだろう。

中国とロシア向けの国債販売は世界販売全体の 85% を占める。つまり、ロガンとハボニィがこの国債販売スキームの親玉で、彼らの分け前はどこかのタックスヘヴン地か、ハンガリー国外の銀行口座に蓄えられているのだろう。何ともあからさまな国家資産の略奪である。

この事業に関係しているオフショア会社には、ロガンやハボニィの他に、政府与党の政治家や関係者が深く関わっている。そうでなければ、このような奇妙なスキームが政府の政策として実行できるわけがない。もしそうだとすれば、与党の政治家が国家機構を利用し、国の税収から利益を得る背任行為であり、国家に損害を与えるものである。また、利子に比べて仲介手数料がきわめて高く、利子が購入者に支払われていないことが予想される。利子の分配などはすべて仲介会社に任されており、仲介会社が仲介手数料と国債利子を丸ごと手にすることが可能だからである。その場合には一種の経済詐欺だと断定される。

まさに、定住権付き国債販売は仲介会社にとっては濡れ手に粟のビジネスである。このスキームを提案した FIDESZ の政治家が、こういう美味しいビジネスを見ず知らずの個人が所有する会社に委託することはあり得ない。国内に登録する会社を経由すれば、税務当局や検察の捜査が容易に入る。だから、ハンガリーの国家権力の手が届かないオフショア企業を使って、回り回ってお金が戻ってくる仕組みを作ったのである。

政府がこのプログラムを停止する際に、財務大臣は「当初の思惑ほどに有利な資金調達ではなくなったから止める」と説明した。国債金融市場から調達した方がはるかに簡単で、安く資金調達できたのは事実だが、政府の難民・移民政策との不整合性や不透明ビジネスを批判され、実態が明らかにされる前に、オルバン首相の判断でこのプログラムが停止されたと考えられる。体制転換から 30 年を経過したハンガリー社会の犯罪許容度を示す格好の事例である。

ハンガリーを代表する赤ワインワイナリー
GEREワイナリーが日本人のワイン愛好家の皆様に、通販サイトを開設しました。

www.gere-club-japan.com

GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE



KOPAR 2012は皆様のご愛顧のお陰で、在庫切れとなり、販売を終了しました。今後は、**KOPAR 2015**をよろしくご愛顧ください。

最高級赤ワインのセットを、ご自宅に配送します。
日本へは国際宅急便(6本の配送費90ユーロ)で、
ハンガリー国内は200ユーロ以上の注文で送料が無料になります。



各種ワインセットの他に、低温圧搾ぶどう最高級オイル、
ぶどうの種と果皮をミクロンのサイズに粉碎した、
ポリフェノミクロンも、通販サイトを通して購入できます。



GERE-CLUB-JAPANの会員になれば、
各種の特典が得られます。GERE ホテルの予約も、
通販サイトを通せば、日本語で予約ができます。



ハンガリー・ニュースダイジェスト

反政府デモ再び、行きつく先は？

鷺尾 亜子

ハンガリーでは12月半ばから反政府デモが連日のように繰り広げられた。年が明けても断続的に続いている。その行きつく先は？ これまで通り、結局は空気の抜けた風船のようになって、何も変わらないまま過ぎていくのか。

デモの発端、「奴隷法」

今回の一連のデモの発端は、労働法の改正である。変更の主要点の1つは時間外労働（残業時間）の上限の引き上げ。従来は年間250時間までで、労働組合との労使協定があった場合は300時間まで増大が可能だった。それを、雇用主と従業員間で書面での合意があれば、400時間までに可能にした。労使協定は必要ない。

与党は12月にこれを国会で成立させ、本年1月1日から施行になった。反対派は「奴隷労働法」と呼んでいる。

なぜこれほど大騒ぎになったのか。内容もさることながら、強引なプロセスへの反発がある。

法案は与党議員2人が11月に提出した。労働者にとって非常に重要なことに関わらず、政府ではなく、たった2人の議員により提出されたのだった。

これは、現与党Fideszがよく使う手である。つまり、本来は政府が法案をとりまとめ国会に提出すべきなのに、「議員立法」で片づける。政府が提案する場合は、通常、まずはその草案をウェブサイト公表し、関係団体に意見を言う機会を与えなければならない。しかし議員が提出する法案では、それは必要ない。

今回も、与党議員2人は、労組連

合らとの何の事前協議もないまま提出した。しかもその時は、残業上限を単に年400時間まで引き上げるもので、従業員との書面合意の要件すら入っていなかった。この要件は、労組側が猛反対したため、修正された結果である。

なお、提出議員のうち1人は、Fideszの重鎮で元デブレツェン市長のコーシャ・ラヨシュ氏。国会でも政府内でも雇用分野を担当したことはない。デブレツェン市は独BMWが昨年、工場進出を発表した場所。そのため、BMWの巨額投資を呼び込むために、Fideszが労働法を柔軟に改正すると裏で約束したのではないかと疑念がもたれている。

国会審議プロセスも問題になった。民主主義の議会では、最後は多数決で決める。しかし、だからと言って、途中の審議がおざなりになり、野党が無視されて良いということではない。今回の審議では、野党議員らが発言中にマイクが切られて、見ている者からは口パク状態になったこともあった。

野党側は、同法案が国会で採決されないよう、あの手この手を使って抵抗した。例として、議長が壇上の議長席に上がれないよう、壇上につながる階段をブロック。とても洗練された手法とは言いが、このような議事妨害戦術にしか訴えられない現在のハンガリー国会の現状を示

していた。



「反政府デモ」に発展

デモの目的は、最初は労働組合らによる法案への反対表明だった。しかし、国会審議が混乱を深める中、デモは次第に現政権に対する全般的な不満、抗議に変わっていった。デモ参加者も、労働者以外に野党シンパや若者らが増えていった。

特筆すべきは、野党陣営は、通常極右とされる Jobbik（ヨッビク）も左派リベラル系、そして若者らの非議会政党のモメントゥムも同じ場に集まり抗議したことであろう。これをもって、今春の欧州議会選挙や秋の国内地方選挙で野党大同連合の共闘の機運が高まったというのは早計だが、少なくともこれまでは、彼らがデモと一緒に壇上に立つことはなかった。唯一の例外は、ヨッビクからの離党者らで昨年結成した「我々の祖国運動」メンバー。彼らは一線を引いている。

連日のように繰り広げられたデモは、参加者数では毎回数千人、多く見積もって1万人程度だった。過去の数万単位のデモ（CEU 連帯、インターネット税導入反対など）には遠く及ばなかった。しかし深夜まで続き、抗議者が機動隊に物を投げ、機動隊の方が催涙ガスを噴射するなど、近年にはない緊張するものとなった。

また、野党国会議員ら13名が、一時期、国営メディア MTVA 本社ビルに入り、5点からなる要求の読み上げを求め、一夜を明かすなども発生。（5点要求：①残業上限時間引き上げ法案の即時撤回、②警察官の残業時間の削減、③裁判所の独立性の復活、④欧州検察庁への参加、⑤メディアの独立性の確保。）読み上げは叶わず、議員2人は強制退去、残りは自主的に本社屋を後にした。

野党や労組らは、1月に入ってからでもデモを続行。労組連合らは、同法撤回や賃金上昇などを掲げ、政府に交渉担当責任者を任命するよう要請した。しかし政府は、交渉を行わないという姿勢。改正労働法下での残業時間はEU指令の範囲内であり、また書面での事前合意を要件にすることで強制されるものは誰もいないと主張している。むしろ、「もっと働きたい、もっと稼ぎたい」人のための規制を緩和したものであり、労働者フレンドリーとする。

そのため、労組らは今後、抗議のために各地で道路の片面封鎖や、職場での全国ストを展開させると警告している。

再び鎮火の道？

今後の注目点は、一連のデモで反対者らは何かを勝ち取れるのか、ということだ。おそらくその可能性は、とても低い。

オルバーン首相率いる Fidesz が 2010 年に政権を樹立して以来、幾度となく大小のデモが繰り返された。基本法（新憲法）反対、インターネット税導入反対、メディア法導入反対や報道の自由を掲げるデモ、高校生や教員らによるデモ、CEU（セントラル・ヨーロッパ大学）叩きの法反対、昨年では 4 月の議会選挙の後、反政権のデモが起きた。

しかし今まで、政府の政策転換を勝ち取ったものは、インターネット税くらいしかない。その他は、一時は盛り上がるが、時間の経過とともに下火になり消滅してしまう。ここにデモの限界がある。デモは主張や意見を表明することはできても、政府の政策を覆すことは非常に難しい。ましてや、デモ隊が叫ぶようなオルバーン首相の退陣など、起きる可能性は皆無と言ってよい。

デモは、社会的注目を集め、自らの主張を広げることも目的だが、今のハンガリーではそれも難しい。国営メディア、政権お抱えメディアが急激に膨張したこの国では、まずデモがあったこと自体があまり報じられない。

国営ニュース M1 を見ている、ニュース番組開始後 30 分してようやく報じられる状況。しかも、「残業時間の上限引き上げに反対するデモ」とは一言も説明しない。あったにしても「労働法の改正に反対」としか言わないので、なんのことかわからない。そして、一貫して、忍耐強く対応する警官らにデモ参加者が物を投げるなど野蛮行為を働いた、というトーンだ。

与党政府は、平和に集会を行う権利はあるが、暴力は断固拒否すると明確にしている。また、春の欧州議会選挙を控える中、デモの背後には、移民受け入れ反対の現政権を攻撃したい米投機家ソロス一味がいるという主張を繰り返す。

政権寄りメディアは、それをそのまま流している。ブダペスト市民は独立系メディアから積極的に情報を得る人も多いが、地方の村ともなると多くの人が政権プロパガンダメディアに抱え込まれている。こうしたことから、反政府デモ参加者の声も、ほとんど届かないのである。

編者の関連記事は以下を参照

https://twitter.com/ako_washio

<http://hungarybusinessnews.net/>



GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE

ハンガリー・ヴィッラーニ地方の赤ブドウ加工品

GEREワイナリー製品

無添加自然加工(自然の恵みもの)

ポリフェノミクロン(商標登録申請中)



100% SZŐLŐMAG OLAJ

シードオイル(箱付き、250ml)

ポリフェノールと不飽和脂肪酸を含んだ赤ブドウの極上低温圧搾シードオイル

成分構成: 不飽和脂肪酸 min. 80%, ポリフェノール min. 6%

使用法: サラダなどの冷たい食べ物に直接かけたり、パンへ直接かけて、ほのかな香りを楽しみ、食欲を増進。

1日の摂取量: 小さじ1杯(およそ5g)を毎朝、可能な限り、空腹時に摂取するのが望ましい。



SZŐLŐMAG & HÉJ MIKROŐRLEMÉNY

種子と果皮のミクロ粉末
(ポリフェノミクロン)
(カプセル180個)



100% SZŐLŐMAG OLAJ/ KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ

シードオイル&ポリフェノミクロンセット
(化粧箱入り)



KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ

種子と果皮のミクロ粉末
(缶入り徳用缶、150g)

ポリフェノールをふんだんに含む有機栽培赤ブドウの種子と果皮を粉碎したミクロ粉末

ポリフェノール成分: 5gの粉末はおよそ250mgのポリフェノールを含む。

使用法: 粉末をそのまま食することは避け、ヨーグルトなどに混ぜて食する。

1日の摂取量: 1日に小さじ1杯の粉末を2回に分けて摂取。

以下のサイトから購入できます。

<https://www.gere-club-japan.com>

アンサンブル エシュテ

国際交流コンサート in ハンガリー



2019年3月21日(木) 18:00 - 19:00

Kiskunfélegyháza市, 聖イシュトヴァーン教会

3月23日(土) 14:00

Budapest市 イタリア文化会館

3月24日(日) 14:00

Gödöllő市 ゲデレー宮殿 – Lovardaホール

《プログラム》

ウェーバー：コンチェルティーノ Op.26

R. シュトラウス：ホルン協奏曲第1番変ホ長調 Op. 11

横関公太：Time goes by so slowly 委嘱作品

モーツァルト：交響曲第35番“ハフナー” K.385

ベートーヴェン：交響曲第3番“英雄”Op.55 他



豊永 美恵
クラリネット



近藤 聡
指揮



パティヌス・フェレンツ
ホルン

全公演入場無料。ブダペスト、ゲデレー公演は事前受付が必要となります。
下記へ氏名・人数・連絡先をお知らせください。

registration.concert@upcmail.hu Tel.: +36-70/3815548

この公演はチャリティーコンサートとなっており、当日会場入り口付近にて募金箱を設置させて頂き御来場の皆様からの募金支援をお願いさせて頂きます。募金収益金は全額を静岡県立こども病院とBethesdaこども病院に50%ずつ寄付させて頂きます。是非、御協力お願いいたします。ブダペスト・ゲデレー公演では13時よりコンサート終了までエントランスホールにて日本の文化紹介プログラムを実施しております。詳しくは下記のQRコードよりFacebookページをご覧ください。



BETHESDA KÓRHÁZ ALAPÍTVÁNY



主催：アンサンブル エシュテ、Propart Hungary Bt

後援：協力：三島中央病院、静岡新聞社・静岡放送、Bethesda病院基金

お問い合わせ：Propart Hungary Bt. Tel: +36-70/3815548

email: proprathungary@upcmail.hu



【イベント情報】

☆ウィブダ・ホットワイン&パーリンカフェスティバル 1月31日~2月3日

会場：Dr Körösy József utca, Budapest 1117

<https://www.facebook.com/events/2238338756389112/>

☆クマさんフェスティバル 2月1日—3日

会場：ブダペスト動物園

14歳以下のお子さんが、クマの衣装や・デザインされた服を着用していたり、クマのぬいぐるみなど、クマに関するものを身に付けて来場しますと

200フォロント/名でご入場する事が出来る特典付き

様々なプログラムが開催されます。

http://kulturaonline.hu/200_forint_lesz_a_jegy_az_allatkertbe_3_napig_gyerekek_figyelem_8775?fbclid=IwAR14yIXQx8_cEZICiEdLJWayo86_4aQE7ZBDTDF00a-K2jPpsYgACux7D0s

AR14yIXQx8_cEZICiEdLJWayo86_4aQE7ZBDTDF00a-K2jPpsYgACux7D0s

☆ディズニー・オン・アイス 2月1日—3日

会場：PAPP LÁSZLÓ BUDAPEST SPORTARENA

1143 Budapest, Stefánia út 2.

<https://www.facebook.com/events/2067983576548336/>

☆アバター・ディスカバリーの宝石 2月2日—5月31日

会場：Andrássy Élményközpont

Andrássy út 39., ブダペスト, 1061

<https://www.andrassyelmenykozpont.hu/avatar/>

☆第10回2月のフルミント・ワイン大試飲会 2月7日

会場：ハンガリー農業博物館/ Magyar Mezőgazdasági Múzeum, Városliget

Városliget, ブダペスト

約200種類のフルミントワインをテイスティングする事ができます。

☆第12回マンガリツァ・フェスティバル 2月8—10日

会場：自由広場 SZABADSÁG TÉR

1054 Budapest, Szabadság tér

<https://www.facebook.com/events/113759532874030/>

☆第7回ブダペストフィッシュ・フェスティバル 2月16—17日

会場：ELTE LÁGYMÁNYOSI CAMPUS

1117 Budapest, Pázmány Péter sétány 1.

<https://www.facebook.com/events/266208374033049/>

☆神楽 2月20日

日本の神道の神事において神に奉納するため奏される歌舞

国際交流基金プログラム

会場：ヨーゼフアッティラ劇場/ József Attila Színház



Váci út. 63., ブダペスト

<https://www.facebook.com/events/365091174305173/>

☆観光博覧会 2月21日—24日

会場：HUNGEXPO Budapest X. ker., Albertirsai út 10., ブダペスト, 1101

<https://www.facebook.com/events/1928622500552435/>

☆ブダペスト・ダンス・フェスティバル 2019 2月15日—3月2日

会場：各会場

<http://www.tancfesztival.hu/index.php>

☆第3回ドーナツフェスティバル 2月23—24日

会場：XII. kerületi mesesép Gesztenyés kert

Mom Sport Parkoló (Jagelló út) Jagelló út, ブダペスト, 1124

<https://www.facebook.com/events/2095982277107719/>

【コンサート情報】



♭ソロ、 ※室内合奏団、 ♯オーケストラ、 ♯室内楽、 ♪合唱音楽、 ∞その他	
♯1日(金) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ハンガリー国立オペラ座管弦楽団 & 合唱団 指揮：シャン・ジャン (中国) レハール：オペレッタ『微笑みの国』	♯11日(月) 19:30 ブダペスト音楽センター トニー・アルノルド(ソプラノ) チャログ・ガーボル(ピアノ) 曲目：クルターク：ソプラノとピアノの為の 『The sayings of Peter Bornemisza』 Op.7
♭3日(日) 19:30 リスト音楽院ショルティーホール キシュ・ペーテル (ピアノ) 曲目：バッハ：イギリス組曲第5番ホ短調 BWV 810 オルバーン：ピアノ組曲 その他	♪16日(土) 19:30 リスト音楽院大ホール コンチェルト・ブダペスト & パーセル合唱団 ロスト・アンドレア(ソプラノ) セバスチャーン・ミクローシュ (バリトン) 指揮：ケーラー・アンドラーシュ 曲目：ハイドン：オラトリオ『天地創造』
♪6日(水) 19:30 リスト音楽院大ホール マンチェスターカメラータ室内合奏団 (イギリス) ヴァールダイ・イシュトヴァーン (チェロ) ヴィーグ・アンドレア (ハープ) 指揮：タカーチ・ナジ・ミクローシュ 曲目：ハイドン：チェロ協奏曲第2番ニ長調 Hob. VIIb:2 クラフト：チェロ協奏曲ハ長調 op. 4 モーツァルト：交響曲第39番変ホ長調 K. 543 その他	※16日(土) 20:00 マーチャーシュ教会 ハンガリー・ヴィルトーゾ室内合奏団 キライー・チャバ (オルガン) 曲目：ヴィヴァルディー、ヘンデル、バッハ、モーツァルト、 リスト、フランク、その他
♯7日(木) 19:30 リスト音楽院ショルティーホール サバディ・ヴィルモシュ (ヴァイオリン) ファルカシュ・ガーボル (ピアノ) 曲目：モーツァルト：ヴァイオリンとピアノのソナタ 第27—32番	♯17日(日) 19:30 リスト音楽院大ホール ケーラー弦楽四重奏団、リゲティー合奏団 トニー・アーノルド (ソプラノ、アメリカ) サライ・アンドラーシュ (ツィンバロン) その他 指揮：ラーツ・ゾルターン 曲目：クルターク：アンナ・アフマートヴァによる4つの 詩』 Op.41 ヴァイオリンとツィンバロンの為の8つの二 重奏
♪7日(木) 19:30 リスト音楽院大ホール ハンガリー国立オーケストラ マーティン・フロスト (クラリネット、ドイツ)	

指揮：キリル・カラビツ（ウクライナ） 曲目：ストラビンスキー：プルチネルラ組曲 コーブランド：クラリネット協奏曲 ラフマニノフ：交響曲第3番イ短調 op. 44 ♪9日（土）19:30 芸術宮殿バルトークホール ドホナーニ交響楽団 指揮：グイド・マンクージ（イタリア） 曲目：シュトラウス：ツァラトゥストラはこう語った リムスキー・コルサコフ：シエラザード（バレエ形式） ハンガリー国立オペラ管弦楽団 指揮：ミケランジェロ・マッザ（イタリア） 曲目：オペラアリアプログラム	リゲティ：室内協奏曲、弦楽四重奏第1番 その他 #20日（水）20:00 芸術宮殿バルトークホール カナディアンブラス（金管アンサンブル） 曲目：モーツァルト：歌劇『魔笛』より序曲 ビゼー：歌劇『カルメン』より その他 #25日（月）19:30 リスト音楽院大ホール ジョシュア・ベル（ヴァイオリン、アメリカ） サム・ヘイウッド（ピアノ、オーストラリア） 曲目：ベートーベン：ヴァイオリンソナタ 4番イ短調 Op. 23 グリーグ：ヴァイオリンソナタ 2番ト長調 Op. 13 その他 ♪26日（火）19:30 リスト音楽院大ホール コダーイ合唱団（デブレツェン市） サバリア古楽器オーケストラ 指揮：ネーメト・パール 曲目：ヘンデル：オラトリオ『ヨシュア』 HWV 64 ♭26日（火）19:30 芸術宮殿バルトークホール オルガ・ペレチャッコ（ソプラノ、ロシア）
--	---

～会場～

- ・ 芸術宮殿 バルトークホール / Művészetek Palotája, Bartók Béla Nemzeti Hangversenyterem
IX. Komor Marcell u. 1., Tel.: 555-3000
- ・ リスト音楽院 / Zeneakadémia VI. Liszt Ferenc tér 8., Tel.: 342-0179
- ・ マーチャーシュ教会/Mátyás-templom I.Szentháromság tér 2.
- ・ ブダペスト音楽センター/ BMC - Budapest Music Center Mátyás u. 8., ブダペスト, 1093 Tel: (1) 216 7894

【4】オペラ・バレエ・オペレッタ・ダンス情報

※国立オペラ座は2019年1月(予定)まで改修工事の為、閉鎖。現在はエルケル劇場/芸術宮殿（MÜPA）にて公演

【オペラ座国内公演ツアー】

歌劇『ラ・ボエーム』

2月8日 Szeged 市 National Theater of Szeged

11日 Kaposvár 市 Szivárvány Kultúrpalota

13日 Kecskemét 市 Hírös Agóra – Kulturális Központ

18日 Tatabánya 市 Vértesséki Agóra

【オペラ座コンサート】

・ プッチーニ・ガラ・ナイト/PUCCINI GALA NIGHT 指揮： センナイ・カールマーン

2月4日 Nyíregyháza 市 Kodály Hall

6日 Szekszárd 市 Babits Mihály Cultural Centre

7日 Tatabánya 市 Vértesséki Agóra

21日 Veszprém 市 HANGVILLA

【子供向けプログラム】

★ビッグ・プロジェクトの日 会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ

入場無料 申し込み要 Registration: jegy@opera.hu (英語・ハンガリー語)

★オペラツアー『パパゲーノ』ヤングプログラム 会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ

毎土・日曜日 15:000 より(1 時間 40 分プログラム) 1 回 2000 Ft/人

2019 年 2 月 2, 10 日、3 月 9, 17, 31 日、4 月 7, 28 日、6 月 9 日

★Sing-along Baby 会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ

毎週木曜日 11:00 - 11:30 1 人 500Ft/回

2019 年 2 月 7,14,21,28 日、3 月 3 月 7,14,21,28 日、4 月 4,18,25 日、5 月 16,23,30 日、6 月 13,20,27 日

★Weekend Sing Along Baby with Daddy

毎週土曜日 9:30 - 10:00 会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ 1 人 500Ft/回

2019 年 2 月 9 日、3 月 23 日、5 月 25 日

★『リングトー』0 歳～3 歳向け会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ

時間：毎月 1 回土曜日 9:30-10:00 価格：500Ft/人

2019 年 2 月 9 日、3 月 23 日、5 月 25 日

★『楽器の魔法』4～7 歳対象の楽器紹介コンサート会場：エルケル劇場 1 階ベルナートブッフエ

毎回日曜日 9:00-10:00 チケット料：4000Ft.(全公演共通) 1200Ft(1 公演)

2019 年 2 月 3 日、4 月 14 日、5 月 19 日

★『Afternoon Jam』4～7 歳対象 会場：エルケル劇場 1 階ベルナートブッフエ

日曜日 15:000 より(1 時間プログラム) チケット料：4000Ft.(全公演共通) 1200Ft(1 公演)

【オペラ】 ☆エルケル劇場 Budapest, II. János Pál pápa tér 30, 1087

歌劇「カイロの鷺鳥」/モーツァルト(世界初公演)

2 月	01., 金	19:00-21:00
	03., 日	19:00-21:00

アルジェのイタリア女 / ロッシーニ

2 月	02., 土	19:00-22:00
	03., 日	19:00-22:00
	05., 火	19:00-22:00
	06., 水	19:00-22:00
	07., 木	19:00-22:00
	08., 金	19:00-22:00

歌劇「ラ・ジョコンダ」/A.ボンキエッリ

2 月	22., 金	18:00-22:00
	24., 日	18:00-22:00
	28., 木	18:00-22:00

【バレエ】 ☆エルケル劇場

☆芸術宮殿フェスティバル劇場 / Müpa Festival Theatre

Rostislav Zakharov / Boris Asafyev

バフチサライの泉

2 月	<u>15.</u>	金	<u>19:00</u>	
	<u>16.</u>	土	<u>11:00</u>	<u>19:00</u>
	<u>17.</u>	日	<u>19:00</u>	
	<u>23.</u>	土	<u>19:00</u>	
	<u>24.</u>	日	<u>11:00</u>	
	<u>27.</u>	水	<u>19:0</u>	

3つの形式/Threestyle

5 Tangos に浅井友香さん、Bedroom Folk に高森美結さん

The Vertiginous Thrill of Exactitude に森本亮介さんが出演されます。

2 月	25.	月	19:00-20:30
	26.	火	19:00
	28.	木	19:00



コルナイが綴る 20 世紀中欧の歴史証言

池田信夫「21世紀最初の10年ベスト経済書」第2位にランク
「週刊ダイヤモンド」2006年ベスト経済書第9位にランクイン

コルナイ・ヤーノシュ自伝

—思索する力を得てコルナイ・ヤーノシュ【著】 盛田常夫【訳】

◆好評発売中！ ◆定価 4935 円（税込） ◆A 5 判／ISBN 4-535-55473-0 日本評論社



体制転換 の経済学

黄色の教科書シリーズで知られる専門学
部の定番テキスト。体制転換の理論と転
換直後の現状を分析。各大学で教科書と
して使用。

盛田常夫著

第一部 社会主義経済の失敗

社会主義崩壊をもたらした社会的退化への論理を構築。交換経済と再分配経済の
比較分析に新たな視点を提供。

第二部 ポスト社会主義経済

体制転換の過渡期の問題をすべて取り上げ、解決の道筋を示す。地域による体
制転換の違いを解明。

■ 新世社 新経済学ライブラリー20 定価2781円(税込)



なぜハンガリーは独創的な科学者を輩出したのか

20 世紀を創ったハンガリー人 マルクス・ジョルジュ【著】 盛田常夫【編訳】

■ 定価 3045 円（税込） A 5 判

■ ISBN 4-535-78331-4

異星人伝説

「週刊文春」(米原万里)、「週刊ダイヤモンド」(北村伸行一橋大学教授)で書評。

ハンガリーは 20 世紀の科学の発展に貢献した多くの頭脳を
輩出した。大きな足跡を残した科学者たちの評伝。

体制転換20年の歴史的・理論的総括の書

ポスト社会主義の政治経済学

体制転換20年のハンガリー：旧体制の変化と継続

新しい概念を駆使して、体制転換以後の中欧社会の状況を分析。

日本経済新聞(2010年3月21日)ほか、多数の書評。

旧来の定説を覆し、新たな知見を広める革新の書。

盛田 常夫著 日本評論社 定価3800円

